

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科目名	人間心理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1学年		学期及び曜時限	前期 前期 月曜1限	教室名	402
担当教員	松田 直美	実務経験とその関連資格	医療分野(精神科・心療内科)、教育分野(スクールカウンセラー)、福祉分野(母子支援施設等)、産業分野(メンタルヘルス・ハラスメント対策等)など、多岐分野における心理業務20年以上経験。また訪問看護ステーション開設/民間カウンセリングルームを開設			
《授業科目における学習内容》						
「心理学」という学問がどのような学問であるのか?ということについて、人間の心と働きについて、様々な視点から学び、主に人間の感じる・知る・考える仕組みを理解します。また、心理学の社会的貢献性(応用することによってできること)や、その可能性の限界(反対にできないこと)についても学びます。心理学が作業療法士にとって、どのような意味があるのかを考えながら、講義を中心に演習・体験も取り入れた授業でより身近なものとして学んでいきます。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験評価 70% 出席評価 20% 平常評価(授業態度、振り返りレポートなど) 10%						
【教科書】 グラフィック心理学 (北尾倫彦等 著) サイエンス社 (教科書のより分かりやすい参考図書として 図説心理学入門 斎藤 勇 編 誠信書房) 【参考図書】 必要に応じて適宜ご紹介いたします						
《授業外における学習方法》						
私たちの行動と心的世界は多様であるため、心理学の領域も極めて広汎であり、様々なアプローチがあります。特に講義では、経験主義に基づく実験心理学を基盤として、知覚、学習と記憶、言語、思考、問題解決等を包括する認知心理学をはじめ、認知発達及び社会発達、パーソナリティ、社会心理学といった主な領域を中心に、心理学全般における理解と基礎を学びますので、自分なりにポイントは把握するように工夫した予習・復習をお願いいたします。						
《履修に当たっての留意点》						
単なる知識の修得へ向けた予習復習にとどまらず、「なるほど」「なんでだろう」といった知的好奇心を持って、作業療法士として援助業務をしているイメージし、日常生活の問題に結び付けて考えて具体的に心理学を利用できるように、楽しみながら講義を受けてもらいたいと思います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心理学とその歴史を知り、心理学概論を網羅的に理解し、今後の学習内容を把握する。心理学とは「心の謎」を科学的に解明する学問であること、心理学的見立てやアプローチが役立つことなどが把握できる。	教科書 第0章 P2-10 配布プリント 自己受容・他者理解体験	【事前学習】教科書予習(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)	
	各コマにおける授業予定	【心理学概論】心と行動の理解 オリエンテーション/ 様々な心理学の分野について概説				
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	私たちの「見える」知覚、「感じる」感覚に関して、基本的な仕組みについて理解できる。	教科書 第1章 P12-36 配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)	
	各コマにおける授業予定	【知覚・感覚①】私たちは外界をどのように知るか 環境を認知する心の接点・感覚系とその機能(感覚受容器, 精神物理学) ○感覚 外界の認識 ・感じる仕組み(五感) ○知覚 外界の解釈 ・モノが見えるの仕組み ①視覚のしくみ②錯覚の不思議③聴覚のしくみ④音の世界⑤その他の感覚				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	知覚とは何か? 感覚からの情報を総合的に判断する働きを理解できる。	教科書 第1章 P12-36 配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)	
	各コマにおける授業予定	【知覚・感覚②】私たちは外界をどのように知るか 環境を認知する心の接点・感覚系とその機能(感覚受容器, 精神物理学) ○感覚 外界の認識 ・感じる仕組み(五感) ○知覚 外界の解釈 ・モノが見えるの仕組み ①視覚のしくみ ②錯覚の不思議 ③聴覚のしくみ ④音の世界 ⑤その他の感覚				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	私たちの日常生活は、そのほとんどが「記憶」によって支えられていることを改めて認識し、記憶のメカニズムや知識の構造などを理解することができる。	教科書 第2章 記憶P38-62 配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)	
	各コマにおける授業予定	【記憶①】情報を処理する心のしくみ 記憶 ○覚える・とは? 忘れる? ・とは (情報を蓄える仕組み) ○記憶の種類と基本過程 ①心を生み出す脳(脳のしくみ) ②記憶のしくみ ③短期記憶 ④意味記憶と手続き記憶 ⑤偽りの記憶 ⑥その他				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人間が行う情報処理については、脳の働きと関連づけて理解できる。	教科書 第2章 記憶P38-62 配布プリント	【事前学習】教科書予習(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)	
	各コマにおける授業予定	【記憶②】情報を処理する心のしくみ 認知 ○認知科学と心の機能 ①情報処理アプローチ(認知とは)②メタ認知(自分を知る自分) ③認知の状況論				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を 通じての 到達目標	日常生活の中で問題を解決するということは、どんな思考過程を経るのかを理解することができる。今後の問題解決に役立てることができる。	教科書 第3章 P64-86 配布プリント	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
	各コマに おける 授業予定	【思考①】考えることのしくみ ○思考の過程と種類 ○自己思考パターンを認識してみる ①推論 ②問題解決 ③心の理論 ④意思決定 ⑤その他		
第7回	授業を 通じての 到達目標	思考の個人差を理解し、対人援助における相手理解や配慮等の必要性を実感できるようになる。	教科書 第3章 P64-86 配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
	各コマに おける 授業予定	【思考②】知性の構造/知能と個人差の理解 ○思考の個人差 知能と知能テスト ○個人差のアセスメント		
第8回	授業を 通じての 到達目標	他者の存在が、個人の思考、感情、行動にどのような影響を受けているのかを理解できる。	教科書 第4章 P88-114 配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
	各コマに おける 授業予定	【認知①】他者を知ることのしくみ ○他者/集団/社会/文化などとの関係における個人 ○他者との関わりの中かで起こる心理的プロセス ①社会心理学の展開 ②認知とは ③対人認知		
第9回	授業を 通じての 到達目標	対人関係の認知において、印象形成や非言語的コミュニケーションの重要性について理解を深めることができる。行動変容を促す諸技法を身近なもので活用できる。	教科書 第4章 P88-114 配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
	各コマに おける 授業予定	【認知②】他者を知ることのしくみ ①対人関係の認知 ②集団認知 社会的相互作用 ③態度変容 ④説得のテクニック ④各諸技法		
第10回	授業を 通じての 到達目標	感情の起きる過程を理解できる。動機づけ理論と認知過程にもとづく動機づけ理論を理解できる。	教科書 第5章 P116-134 配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
	各コマに おける 授業予定	【学習①】感情・動機づけ/喜怒哀楽と意欲をめぐって ○動機づけと情動(こころが動き出す仕組み) ○欲求、葛藤 ①感情のしくみ ②感情についての理論 ③認知動機づけ ④認知過程に基づく動機づけ理論		
第11回	授業を 通じての 到達目標	経験による心の変化と新しい情報を見つけ出す心の働きについて理解できる。	教科書 第5章 P116-134 配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
	各コマに おける 授業予定	【学習②】感情・動機づけ/喜怒哀楽と意欲をめぐって ○古典的条件付け/オペラント条件づけなど ○自己効力による動機づけ / 自己効力モデル / 学習性無力感 ①条件付け学習 ②試行錯誤と混在学習 ③動機づけ ④認知過程に基づく動機づけ理論		
第12回	授業を 通じての 到達目標	パーソナリティーについて、類型論などの古典的な理論について学びながら、代表的な性格検査の特徴について理解できる。	教科書 第6章 P136-162 配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
	各コマに おける 授業予定	【パーソナリティー】心の個人差と適応を知る ○パーソナリティーのとらえ方 ○性格類型と特性 ○自己認知 ○パーソナリティー・テスト ○パーソナリティーの形成 ○適応のメカニズム ①性格・人格・気質とは ②家庭環境・文化の影響 ③適応のメカニズム(欲求不満・防衛機制・心理療法(テスト含))		
第13回	授業を 通じての 到達目標	人間の発達と心の働きについて理解できる。	教科書 第7章 P164-190 配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
	各コマに おける 授業予定	【発達①】こころの働きの成長/変化 ○乳幼児期の愛着形成の各実験や諸理論、青年期、成人期、老年期など心理的特徴等については、各学説・諸理論を紹介 ①胎児の感覚と行動特性 ②認知の発達 ③言語の発達 ④社会性の発達 ⑤自己の発達 ⑥生涯発達 ⑦心の理論		
第14回	授業を 通じての 到達目標	人間の発達と心の働きについて理解できる。	教科書 第7章 P164-190 配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
	各コマに おける 授業予定	【発達②】こころの働きの成長/変化 ○乳幼児期の愛着形成の各実験や諸理論、青年期、成人期、老年期など心理的特徴等については、各学説・諸理論を紹介 ①胎児の感覚と行動特性 ②認知の発達 ③言語の発達 ④社会性の発達 ⑤自己の発達 ⑥生涯発達 ⑦心の理論		
第15回	授業を 通じての 到達目標	ストレスを知り、その対処方法を学ぶ。 自己管理としてのセルフケアを知り、ストレス対処方法を理解できる。職場・日常生活での健康維持・促進を図ることができる。	配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
	各コマに おける 授業予定	【メンタルヘルス対策】こころの健康 / まとめ ○ストレスと心の健康 ○よりよい対人関係とは ①ストレスとは ②ストレスとつきあう(セルフケア)③支援の現場での関わり方(自己受容(理解)・他者受容(理解)④まとめ		